

わが社のイチバン！

会員企業様のいま一番のイチオシ製品をご紹介します
コーナーです。たくさんのご褒めが詰まった素晴らしい
製品を、毎月取材していきたいと思っております。

イチ押し製品



第19回

愛され続けて50年、トイレからニッポンをこちよく

『液体ブルーレットおくだけ 除菌EX』

昨年、発売から50周年を迎えた「ブルーレット」。1969年の発売開始以来、「清潔なトイレ空間」を通じて、その先にある「こちよ暮らし」を見守り続けてきました。

日本のトイレとともに進化を続けてきた「ブルーレット」には、この先もずっと日本中の皆さまの「こちよ暮らし」を応援し続けたい、という同社の想いが込められています。



あったらいいな
をカタチにする

小林製薬



“あったらいいな”をカタチにし
人と社会に素晴らしい「快」を提供する

小林製薬 株式会社

日用品事業部 マーケティング部
ブランドマネージャー
福田 覚氏

ブルーレットは
置くだけなのに

どうして掃除が楽になるの??

実はトイレのたまり水には、排泄物由来の油などの汚れが浮かんでいます。その汚れをエサにして菌が繁殖すると、菌はより心地よい環境を求めて巢のようなもの（ヌメリ）をつくります。そこへ空気中の黒カビがくっついて固まり、黒ずみになるのです。

「液体ブルーレットおくだけ除菌 EX」は、洗浄・防汚効果に加えて、除菌剤を配合。黒ずみの原因となる菌の繁殖を抑制し、水際の黒ずみの発生を抑える効果があります。

また、「ブルーレット」の主成分である界面活性剤が、便器表面をコーティングし汚れの付着を抑えてくれるので、流すだけで便器がきれいに保たれるのです。



「ブルーレット」は愛されて 50年!



「ブルーレット」開発のきっかけは、当時アメリカに留学していた小林一雅氏（現・代表取締役会長）が滞在先の家庭で目にしたトイレに流れる青い水が始まりでした。バスルームには、バスタブ、トイレ、洗面台が並び、壁はタイル貼り、青い水の流れるトイレからは良い香りがしており、明るく清潔感あふれる快適な空間でした。一方、当時の日本のトイレは汲み取り式が主流で、臭く、汚く、暗い空間でした。小林氏はアメリカと日本の違いに衝撃を受け、「日本のトイレをきれいにしたい」と、すぐさまトイレ用芳香洗浄剤の新製品開発に取り組みました。

その後、急速な水洗トイレの普及とともに「ブルーレット」は全国に広がり、今やトイレ用芳香洗浄剤の売り上げのほとんどを占めるようになりました。

現在はタンクレス型トイレの増加に伴い、便器に直接押して貼るタイプの「デコラル」や、「スタンピー 除菌効果プラス」も発売されています。

ニッポンのトイレとともに進化を続け
長きに渡り愛される「ブルーレット」シリーズ



「ブルーレットは切らした時こそ、その汚れ方の違いを実感し、効果の高さを感じてもらえる」と語る福田さん。

同社のエントランスには CM などなじみのある商品がずらりと並ぶ。

小林製薬 株式会社

代表取締役社長 小林 章浩

〒541-0045 大阪市中央区道修町4-4-10

KDX 小林道修町ビル

TEL: 06-6231-1144

URL: <https://www.kobayashi.co.jp/>



取材にご協力いただき、ありがとうございました。

取材を終えてひとこと

福田さんにお話を伺い、「液体ブルーレットおくだけ除菌 EX」が欲しくなったので帰宅時に早速購入してみました。トイレが爽やかな香りになり、便器のツヤも増したようです。表面がツルンとして汚れが付きにくくなったので掃除も楽になりました。10年以上前にブルーレットを使ったころと比べると、かなり進化しているな!と感じました。もっと前から置いておけばよかったです。
(事務局)

今後皆さまの会社へも取材のお願いをさせていただくこともあるかもしれませんが、その際はぜひご協力よろしくお願いします。
<お問い合わせは下記まで>
TEL: 06-6251-1138